

「ひなたの学び」について

義務教育課

1 作成の趣旨

予測困難な未来を生きる子供たちには、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていく「生きる力」が求められている。

そのため、学校においては、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善によって、子供たちの学びに向かう力を育てていく必要がある。

そこで、幼児期からの「すべての学びの場」において、未来の宝である宮崎の子供たちを誰一人取り残さず、大切に育てていく学びの方向性を「ひなたの学び」として整理した。

2 目指す子供たちの姿

○ ひとりひとりが問いをもち、主体的に学ぶ姿

例えば、

学ぶことに興味や関心をもっている。

見通しをもって、粘り強く取り組もうとしている。

○ なかまとなって学び合い、対話的に学ぶ姿

例えば、

子供同士の協働を通じ、新しい発見や豊かな発想が生まれる。

家族や地域の人との対話を通じ、自己の考えを広げ深めている。

○ 主体的・対話的な学びにより、考えを深めようとしている姿

例えば、

一つ一つの知識がつながり、「わかった!」「おもしろい!」と感じている。

これまで考えもしなかったことにまで、考えが深まっている。

3 経過と今後の計画

令和5年4月	教育庁各課補佐プロジェクト委員会による検討（3回実施）
5月	各市町村教育委員会教育長・校長会へ説明及び意見聴取
6月	定例教育委員会（説明） 各市町村教育長（訪問説明）
7月	校長会理事会（説明） 各学校へPDF版、ポスター送付
8月	県政番組にて広報



学びに向かう力を育む

ひなたの学び

「日本のひなた宮崎県」では、幼稚園等・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校と、すべての学びの場において、家庭・地域と連携しながら「ひなたの学び」を推進していきます。



ひとりひとりが

問いをもち

どうして？なぜ？と問いをもちます



なかまとなって

学び合い

いろいろな人とつながり、学び合い、考えを広げます



たかめよう

深く考える力

自らの問いに対して、深く学び、さらに伸びていきます



みやざきのこどもは、ひとりひとりが、生き生きと、すすんで学び、さんさんと光る太陽のように、みやざきの未来を明るく照らしていきます。